

12月号 第29回

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回の特集は「駒取りに関するフェアリー作品」。作品の質が高くて喜んでいたら、解答者数は激減。担当としては複雑な気持ちです。

①ばか詰75手

神無三郎

																		一
																		二
																		三
																		四
																		五
																		六
																		七
																		八
																		九

持駒 香歩

89香、88角、同香、同玉、89歩、同玉、67角、78香、

同角、98玉、89角、87玉、78角、同上、89香、88角、同香、77玉、68角、88玉、79角、77玉、68角、87玉、

45桂左、77香、88歩、同玉、77角、87玉、89香、88と上、

同角、77歩、同角、97玉、99角、77歩、88角、87玉、

77角、89と、68角、77香、88歩、同玉、77角、

99香、同と、68角、88玉、77角、87玉、68角、77香、

88歩、同玉、77角、97玉、88歩、同と、68角、88玉、

77角、87玉、68角、77香、88歩、同玉、77角、97玉、

98香、同と、68角、88玉、77角、87玉、68角、77香、

88歩、同玉、77角、87玉、89香、97玉、88角、77香、

88歩、同玉、77角、97玉、88歩、同玉、77角、87玉、

77角、87玉、68角、77香、88歩、同玉、77角、87玉、

89香、97玉、88角迄75手。

☆三郎氏お得意の密室パズル

型ばか詰。盤上にと金が3枚ありますが、これを全部

取つては詰みません。1枚は退路塞ぎに残す必要があ

ります。一見、飛筋に居座る77とを早く消したくなり

ますが……。駒井信久―利用するのは、97とではなく77とだった。

某氏(無解)―89香、88と左、45桂以下挑戦するも解けず。

☆57桂を跳ねたときの香合を取れるよう、あらかじめ駒交換を行つて盤上に角を据えておくのが巧妙な手順。

結果、77とが生き残る意外な展開になります。

今川健一―飛角香歩、この協力で、詰上りは？ 最後の

両玉手に拍手喝采、ヤンヤ、ヤンヤ。

☆香歩を巧く入手しながらと金を運搬すれば、最後に爽

快な両玉手の詰上りが待っています。解後感の非常に

良い作品だと思えます。

②PWCはか自殺詰7手(受先)

上谷直希

持駒 なし

98馬、32龍、同馬/98龍、25角、34桂、58龍、54馬

迄7手(〃は復元位置)

【PWC】取られた駒は取つた駒が元あつた場所に復元する。

【受先】攻方ではなく受方の手番から開始する。

☆進境著しい若手作家の登場。本作は受先形式ということ

で、初手の発見が解図の大

きなポイントです。

真丁―最速移動！面白い！

☆初手は最速移動の98馬！

なぜ他の位置ではいけないのでしょうか？

市村道生―初手が命。最後は、

取るに取られぬ魚屋の猫。

☆最終手54馬を龍で取ると、

馬が58に復活し白玉に王手

が掛かってしまいます(つ

まり取れない)。初形と3手

目の局面を比べると、34龍

が98龍に移動してはいますが、

これが狙いだっただです。

神谷薫―受先の初手に期待す

る要素である「遠打」を「遠

移動」とすることで駒の復

元位置を限定するアイデア

には感心した。

作者―PWC2作目&PWC

の自殺詰初挑戦です。(後略)

☆本作をご観戴ければ分かる

通り、上谷氏の作品には常

に新しいアイデアと明確な

狙いが含まれています。今

後の活躍も注目ですね。

③キルケバか自殺詰12手

橘圭伍

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					龍				一
									二
									三
						馬			四
									五
									六
					銀				七
									八
銀	王							歩	王
									九

持駒 飛角

11飛、12角、91角、11飛

／28飛、98飛、91飛／88角、

55角、98飛生／28飛、78飛、

46歩、同角／43歩、78飛成

／28飛迄12手。

【キルケ】駒が取られると最

も近い指将棋での初期位置

に駒が戻される。

☆双方の玉が離れているので、

41飛を活用したいところで

すが、普通に駒を打って取

らせる……では、すぐに行

き詰まってしまいます。そ

こで攻方の駒を復活させ

てそれを合駒代わりに使う

「魔女返し」と呼ばれるキル

ケ独特の手筋が登場します。

増田智彬―飛を28に復活させ

て王手を防ぐことは、考え

たことがあります。こ

う表現する方法がありまし

たか。詰上りが思い浮かび

にくいです。

☆いくら「魔女返し」でも飛や

角を個別に使ったのでは、

1度復活してそれで終わり

です。本局では両者を連携

して用いることで、角筋を

飛車で止め、飛筋を角で止

め……という多段活用を可

能にしています。素晴らし

い着想ではありませんか！

市村道生―遠駒を使った豪快

な大技を連発。45歩が意味

深い配置。

☆41飛の活躍の裏でじつと出

番を待っているのが最初に

合駒で発生させた角。これ

を焦って使おうとしてはい

けません。例えば8手目に

46歩とすると、角筋が攻方

王に直射して失敗します。

☆また、最終手78飛成を同飛

と取り返すと、飛が82に復

活して白玉に王手を掛ける

反則となります。詰上りも

キルケール独特です。

作者―魔女返しによる41飛の

回転が狙い。過去の氾濫で

発表された傑作「Phoenix」

に影響を受けての創作です。

最初の限定台を入れる為に少し配置が苦しくなりました。手が順は満足してます。

☆非常に密度の高い手順なので、配置は多分これが最善でしょう。構想・表現ともに優れた傑作だと思います。

④ 取禁ばかり詰59手 たくぼん

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		王	王					
		王	王					

19香、25玉、17桂、14玉、
25桂、23玉、13桂成、33玉、
：(20手略)：96圭、98玉、
97圭、99玉、：(14手略)：
持駒 金香

49 圭、28 玉、18 金、37 玉、
48 圭、36 玉、37 圭、25 玉、
36 圭、14 玉、28 金、15 銀、
25 圭、23 玉、：(22 手略)：
96 圭、87 玉、：(10 手略)：
45 圭、26 玉、17 金、25 玉、
35 圭、14 玉、25 圭、23 玉、
：(22 手略)：96 圭、98 玉、
97 圭、99 玉、：(14 手略)：
49 圭、28 玉、18 金、37 玉、
48 圭、26 玉、37 圭、16 玉、
28 金、18 と、27 金、25 玉、
36 金、16 玉、26 金、17 玉、
27 金迄59 手。

【取禁】詰手順中に駒を取る手があつてはならない。

☆取禁なのに攻方は小駒が4枚だけ。しかも59桂は周回コースを限定するための配置で、詰める役には立ちません。これで本当に詰むのでしょうか？

真T—47飛配置から詰上りが浮かびました。1枚の香から2枚の移動合を引き出すのは面白いですね。

☆これが不可能を可能に変える秘策。香打に対し一度合駒したらそれで終わり…：ではなく、2周回つて金を元の位置に戻せば2回目の開き王手が可能なのです。こうして移動合で駒を動かすことで、右辺に空間を確保して詰上げます。

増田智彬—知恵の輪的な作品。金の動きが新鮮。

駒井信久—2周目は近道を利用する。詰上り形を見つけるのが難しい。作者(抜粋)—序の19香と途中の18金の組み合わせが狙いの順ですが、収束がややこしくなりすぎでばけたか

もしれません。☆本作は詰上りの想定が困難で、解答常連も軒並み白旗でした。取禁は一見地味ですが、本作のように高度なパズルが創作可能な分野です。今後多くの作品が創作されることを期待します。

⑤ キルケ最悪自殺詰47手(受先) 金子清志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	王
		龍					王	銀
		馬	香					
		龍						

22桂、21と／23歩、同銀／27歩、12歩、同銀／17歩、61龍、51桂、同龍／81桂、持駒 歩

41金、同龍、21桂、同龍、

同銀／28飛、12金、同玉

／49金、24桂、13玉、

12桂成、同銀／29桂、24銀、

同玉／39銀、34と／33歩、

同桂／37歩、33馬、同玉、

83龍、73歩、同龍、63歩、

同龍、43歩、同龍、同玉、

44歩、54玉、55歩、65玉、

66歩、同玉、67香、55玉、

47桂、44玉、45歩、同玉、

46歩、同桂迄47手。

〔変化〕38手目66歩のところ

67香は55玉以下早い。

〔最悪詰〕攻方はなるべく相手

玉手が詰まないように王手

し、受方はなるべく早く自

玉が詰むように応じる。

作者―駒取りがテーマという

ことで、キルケで玉周囲の

邪魔な駒をたくさん発生さ

せて自殺するものを作って

みました。

☆常に前人未踏の表現領域を

意欲的に切り拓く金子氏。

今回は最悪詰で、自殺詰で、

キルケで、とどめに受先形

式という、ルールを聞いた

だけで目眩がしそうな作品

での登場です。

☆ただ、「最悪＋自殺」は、

受方の立場に立つて考えれ

ば、「(自分ではなく)相手

に王手義務のある詰将棋」

と解釈できますし、キルケ

ルールは「復活した駒で攻

方王の退路を塞ぐ」という

構想のヒントにもなります。

こうして作者の意図を看破

し完璧な解答を送ってきた

のがこの方です。

真T―初手に打った桂が2段

跳ねてとどめ。初形で攻方

玉の周りには何も無いのに

詰上りでほぼ全方位囲まれ

ているのが面白いですね。

どうせなら48も埋めて欲し

かったです。

☆構想を見抜けば手順は意外

と難しくありませんが、7

手目51桂が重要な伏線。こ

れを怠ると40手目67香で桂

を入手することができない

のです。ところが、この手

に關してこんな評が……。

須川卓二―一応書いたけど、

この順だと8手目に21桂で

不詰か。

☆駒井氏も同様に正解を解答

した上で右記のような疑問

を呈しています。ここは間

違い易い所ですが、攻方には

王手義務があるので、8

手目は51龍／81桂を選ぶし

はありません。51龍／21桂

は王手にならないので、他

の王手にならない合法手

(例えば24銀)と同列の扱

いなのです。初形で龍が73

ではなく63に配置されてい

る理由もここにあります。

(73龍だと7手目51桂を61

桂としても良くなる。)

☆このように実力解答者をも

戸惑わせた本作ですが、初

手の桂打から最終手の桂跳

まで首尾一貫した手順は、

非常に論理的で明快です。

ルール設定の新奇さで敬遠

された方もぜひ盤に並べて

鑑賞してください。

【解答成績】(太字5名当選)

【全題正解】駒井信久、真T、

須川卓二(4題) 増田智彬

【3題】市村道生

【2題】今川健一、神谷薫

【1題】天津包子

【0題】安原嗣治、かい賊